

戸山高校SSH縁日（科学体験—実験教室）

5月3日の化学・物理コースに引き続き、7日には生物コースが小学生に向けて実験教室を実施しました。「葉脈標本を作ろう」と題して、椿の葉を熱湯に入れて加熱した後に塩素系漂白剤に浸し、葉肉を歯ブラシで軽く叩きながらそぎ落として葉脈を残し、最後にラミネートして仕上げました。



葉脈標本の説明



加熱後の葉の変化に釘付け



葉肉を歯ブラシでそぎ落とす作業



絶妙な力加減が必要

加熱するにつれて葉の色が変化していく様子に小学生たちは興味津々、初めて身につけるゴム手袋や使い慣れないピンセットなどにわくわくしている様子を見せながらも、歯ブラシを持つと真剣そのもの、高校生顔負けの器用さと集中力で標本を完成させていました。加工に適した葉の選定や最適な加熱時間、歯ブラシの使い方など、SSH生たちはこの日のために行った準備を遺憾なく発揮し、また小学生たちも大いに楽しんでくれました。

SSH生からは「またやりたい」という声も聞かれ、実際に後日、予定しているとのこと。科学の面白さを伝える手応えを感じた活動となったようです。